



画家プロフィール：高橋聖大（たかはし しょうた）1990. 7. 13 松戸市生まれ。2014 年多摩美術大学絵画
学科日本画専攻を卒業。命の現像をテーマに優しい詩を読むような作品の製作に取り
組んでいる。

原画は、からたち薬局に展示されています。

からたち薬局の紹介

【からたち薬局 雨谷暁】

からたち薬局が2014年8月1日にオープンして10ヶ月が経過しました。オープン当初は場所がわかりにくいという話をよく耳にしていたのですが、この頃はほとんど聞かなくなったように思います。看板を設置した効果が現れていると思います。ですが、今後新たに利用される患者様の為に、この場を借りて「からたち薬局」の位置を改めてご紹介致します。下の地図をご覧ください。



① 三和病院を出たら**左**を向く

左を向いても薬局らしき建物は見えません。電柱に看板を設置しているので目印にしてください。

② そのまま40～50m直進

縁石やドブがあるので足元に注意してください。(冬は暗くなるのが早いので要注意)
台風やゲリラ豪雨で道路が水没することもあります(去年は1回ありました)

③ 「からたち薬局」の看板が見えたら到着 車イス用のスロープあります。

花壇もあります。(小さな向日葵が咲いているかも)

このように立地的にはやや恵まれていませんが、オープンからの9ヶ月間で松戸市内だけでなく、県外からの処方箋も合わせて約70の医療機関からの処方を応需することが出来ました。

薬がそろわずご迷惑をおかけすることもあります。次回も御利用して頂けるように誠心誠意の対応を心がけています。

また、4月からは福祉用具の販売とレンタルを行う介護ショップからたちも併設しています。店内にカタログがありますのでご希望の方は声をかけて下さい。

中野食堂の報告

【幸樹会 理事長 中野三代子】



ある日のメニューです☆

(酢の物・切干大根の煮物・サラダ・トマトの甘酢漬け・おにぎらず)が並んでいます！

また、別の日には、利用者さんのご家族が育てたお野菜を使った料理が並ぶこともありました。

テーブル上には、庭に育つ季節のお花を飾り、壁には食堂の様子を写した写真を飾っております。

中野食堂をオープンしてから、利用者さんとそのご家族にもご利用していただく機会がありました。新たなコミュニケーションが生まれる場所となり、関わる方々の普段見られない表情が見られるなどの発見もあります。

今後も本部の仕事の状況によって、不定期ではありますが、平日12:00-13:00ごろを目途に行っていこうと思っています。少しでも材料費を頂戴しております。お昼ごろ用事があるこちらに来られるときに、一緒に食事を囲みながらお話する機会を作りたいという方、ぜひいらしてください。

在宅療養



褥瘡

在宅ならではの方法でかかとの褥瘡がよくなった！

【退院時の写真】



サイズ[1.8 cm × 1.4 cm]

【13日目の写真】



サイズ[0.7 cm × 0.7 cm]

部位
..
かかと

退院時は、デュオアクティブCGFとオプサイトという被覆材で保護されていました。

【退院後1日目】

褥瘡からの浸出液の多さと、歩行の影響で、被覆材がずれていました。また下肢の浮腫もあり、周囲の皮膚が白くふやけていました。

『被覆材を貼ってもまたズレて摩擦で褥瘡が悪化するのでは？どうしたらいいかな？』

そこで、石鹸洗浄後、傷より少し大きめにカットしたラップに小さな穴を数個あけて、その上から尿取りパット1/3にカットしてものを当て、幅広のテープで固定しました。

同日、ケアマネさんと福祉用具の担当者の迅速さで、即日低反発のマットレスに変更。

ご家族は、より良い生活のためには、しっかり歩いてほしい思いがあり、退院当日から立ち上がりや歩行を積極的に支援していました。

【2日目】

浸出液はパット内で褥瘡の悪化はなく、圧迫による痛みもない様子。訪問診療医より、「もう一度被覆材を貼付してみるけど、はがれるようなら、前日と同じ処置でいい」と指示をもらいました。併せて、栄養状態改善のために、エンシュアという高栄養のドリンクが処方されました。（現在処方薬はからたち薬局が訪問し届けてくれています。）

【3日目】

被覆材がはがれていたもので、その後4日間に渡り、石鹸洗浄＋穴あきラップ＋パットで処置を行いました。

【7日目】

褥瘡は徐々に小さくなってきましたが、白くふやけている皮膚は改善せず、弱い皮膚のまま。

そこで、石鹸洗浄後、穴あきラップ＋パットの代わりにリードクッキングペーパーをビニールテープでとめる処置に変更しました。

【9日目】

周囲の皮膚の色が良くなりました。訪問診療医の診察で、同じ処置でいいと指示が出ました。その後、褥瘡の大きさと浸出液の減少に合わせて、貼るもののサイズを小さくしました。

【13日目（左記写真）】

皮膚の色がかなり良くなり、褥瘡も縮小傾向。

『何が良かったのか??』以下の4点に注目して振り返ってみました。

①ベッドから起きる、歩く

⇒ご本人とご家族の気力が素晴らしく、下肢の血流が改善したこと。

②褥瘡部の除圧

⇒低反発マットレスと臥床時かかとの圧を逃がすような姿勢をとれるように布団を活用したこと。

③ご本人の創部再生能力

⇒栄養状態は良好とは言えませんが、糖尿病などの創部再生を妨げる疾患がなかったこと。

④訪問診療医と連携し、褥瘡の状態に合わせた連日の石鹸洗浄と適切な処置

⇒今回応用したラップ療法はすでに広く知られるようになりました。これは適切な湿潤環境を保つという褥瘡治癒に必要な環境をラップで作るというものです。褥瘡から出る浸出液は、創部再生に必要な液が出ています。それをうまく活用できるようにするものです。

今回穴あきラップにした理由は、浸出液が多く蒸れによる周囲の皮膚のふやけを避けるためでした。褥瘡治癒に適切な湿潤環境を保つという基本を、今回の処置で応用しました。そこに創部保護のための塗り薬はなくても改善したことも発見でした。

しかし残念ながらこの後、全身状態の悪化とともに歩くことが難しくなり、褥瘡は小康状態。

【現在の写真】

サイズ[1.0 cm × 1.3 cm]



足の皮膚の色・創部の色はいいですが、また周囲の皮膚のふやけが見られます。全身状態が悪化しても、褥瘡の急激な悪化が起きていないのは、評価できることです。

前日エアマットへ変更になったため、処置は同様で経過を見ています（穴あきラップとリードで保護）。

また、ポジショニングの調整や全身状態改善のために、医師の指示のもと点滴を行うなど、引き続き悪化予防に努めております。

【まとめ】

上記の要因すべてが大切な過程でした。今後もご本人の状態に合わせた丁寧な観察と改良の繰り返しが必要です。引き続き学習していきます。今回とても有意義な振り返りができました。ご了承いただいたご本人、ご家族に感謝いたします。

【ご参考までに使用物品の紹介】

パット = 尿とりパット

ラップ = 食品用のラップ（サランラップなど）

穴あきラップ = シンクの水切り用のポリ袋。

またはラップに小さい穴をあけたもの

ビニールテープ = 文房具のテープ

リード = 食品用のクッキングペーパー



↓デュオアクティブCGF↓はこちら。



このような医療用の物品は、高価であり、在宅で毎日交換が必要な状態となると利用者さんの負担はかなり大きくなります。（ご参考までに。ガーゼMサイズ 30枚入 1000 円程。リード 40 カット 200 円程）

ラップ療法だけにこだわらず、状況にあわせて医療用の物品を適用することは、とても重要なことです。

【引用文献】

水原 章浩（2011）. 見てできる褥瘡のラップ療法
医学書院

外部研修参加報告

【平成 27 年度 認知症予防講演会】

日時：平成 27 年 5 月 16 日（土）

午後 1 時半～3 時 15 分

場所：松戸市民会館 ホール

テーマ：「安心・安全に暮らせるまちを目指して」
～わたしたちにできること～

講師：永田久美子氏（認知症介護研究・研修東京
センター研究部 部長）

主催：松戸市・松戸市医師会

【概要】

認知症とは「病気によって脳の働き（記憶や理解・判断など）が低下し、日々の生活を送ることが次第に困難になっていく状態」と定義されています。今や、65 歳以上の約 15%（予備軍の人も含めると 30%）の方が認知症と言われています。また、20 代や 30 代など 65 歳未満で発症する若年性認知症の方もおり、従来の予想以上に多い状況で

す。永田さんは認知症に対して、このように話していました。「特殊なこと、他人事ではない」「認知症の方は、自分の一歩先を行く人」また「周囲の理解と支援があれば、認知症の方も支えられる一方ではなく、自分らしく、秘めている自分の思いや力を発揮して生き生きした日々を送れる。」と。実際に永田さんが関わっている地域の事例を写真や映像でご紹介いただきました。

どうたれ内科診療所の堂垂伸治医師からは、「オレンジ協力隊（市民ボランティア）」など松戸市の認知症の取り組みについてご説明がありました。

日々の関わりの振り返りと、私たちにできることを改めて考えるととても勉強になる講演でした。

定期勉強会

●前回報告 5 月 16 日（金）実施、
テーマ「経営管理論の歩み概要リーダーシップ論
パート 2」 講師 武井幸穂氏

【参加者感想】「LPC 尺度という客観的指標を用いて、自分のリーダーシップの傾向をみるということ
は初めてでした。仕事中心と思っていましたが、意外に人間関係を中心に考えて動いていることに気づきました。」

●次回学習会予定 テーマ「経営管理論の歩み概要
リーダーシップ論パート 3」、

日時：6 月 19 日（金）、18：30～19：30

場所：ハーレ・ヨシ 101 号

*参加希望申し込みや内容については、本部までお問い合わせください。（連絡先は下記記載）

ブログもあります

●からたち薬局

<http://ameblo.jp/karatachi-p/>

*「からたち薬局 ブログ」で検索できます

●あんず訪問看護ステーション

<http://ameblo.jp/anazu-kouju-kai/>

*「あんず訪問看護ステーション ブログ」で検索できます

一緒にはたきませんか！？

看護師・薬剤師・ケアマネジャーの 資格がある方お待ちしています☆

詳しくは、本部へお問い合わせ下さい。

連絡先 一般社団法人幸樹会本部 中野三代子

住所：千葉県松戸市河原塚 411-1-102

TEL：047-701-7550

E-mail：miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp

編集後記

幸樹のご感想をお寄せいただいた方々ありがとうございました。来月は、利用者さんのご家族の介護体験記を掲載させていただく予定になっております。今後ともよろしくお願いいたします。

（奥村万里子）